



GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橋通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL 0985(38) 8821
FAX 0985(38) 5028

女性活躍企業

「えるぼし」を認定



障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わります

「障害者が地域の一員として共に暮らし、共に働く」ことを当たり前にするために、事業主には法定雇用率以上の割合で、障害者を雇用する義務があります。4月1日から障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わり、あわせて法定雇用率も変わります。

	現行	4/1以降
民間	2.0%	2.2%
国、自治体	2.3%	2.5%
教育委員会	2.2%	2.4%



東表前
事取列
務務左
長、右
同同吉
院社田
佐津曲
田取働
事務局
課長、長、えび
ひ左の
いよ子
君工
業
英津
病曲
院代

え宮
び崎
の県
電内
子で
工業初めて
(株)



2月28日、宮崎労働局は、えるぼし・くるみん認定交付式を開催しました。「えるぼし」については宮崎県内では初めて、えびの電子工業株式会社（えびの市・製造業・労働者数690名）を認定。

えるぼし認定 くるみん認定 慈英病院
は認定基準を満たす項目数に応じて3つの段階がありますが、同社は、女性の管理職比率や継続就業など5つの認定基準全てを満たした3段階目の認定となりました。津曲洋一社長は、「当社は女性、特に主婦層の労働者が多く、どうしても彼女たちが生き生きと働いてくれるかという観点から社内制度を作り上げました。その結果として三ツ星

の基準を満たしたと思います」と述べられました。

また、次世代育成対策推進法に基づく「子育てサポート企業」を認定する「くるみん」については、認定基準が厳しくなった昨年4月以降では県内初となる認定を医療法人栄正・慈英病院（宮崎市・医療福祉・労働者数116名）に授与。同院の東洋一事務長は、「男性看護師が1



に認
つ定
交付
式後
、各
々の
行っ
た組

か月育児休業を取ったときは、同僚の看護師みんながカバーしてくれました」と語られました。

どちらも、県内事業場の範として更なる躍進を期待いたします。

派遣労働者の雇用安定へ

派遣期間の3年ルールが9月末に期限を迎えます

月末に最初の期限を迎えます。

セミナーでは派遣先の講ずべき措置や、派遣と請負との区分、いわゆる偽装請負の内容を中心に、中村需給調整指導官が「派遣先は、派遣労働者を3年を経過して受け入れる場合、期間延長手続きとして期限内に過半数労働組合等との意見聴取が必要です。一方、派遣元は、派遣先への直接雇用依頼など雇用安定措置等が生じます」などの留意点を説明しました。

セミナーには宮崎・延岡・都城の3会場に計122社169名の参加がありました。



宮崎会場
で説明
する中
村指導
官

2月22日から26日にかけて、宮崎労働局は、派遣先・請負発注者等を対象としたセミナーを開催しました。平成27年9月に改正派遣法が施行され、派遣期間を一律に3年に限る「3年ルール」が、今年9

「えるぼし」とは

女性の活躍推進に関する状況等が優良な企業として厚生労働大臣が認定します。「えるぼし」を商品などに使用でき、女性の活躍推進をアピールできます。また「公共調達における加点評価」と「日本政策金融公庫による低利融資」の対象になります。

企業と働く世代の健康を

仕事と治療の両立と長期療養者の就労への理解を訴え

講演
の二色
就職支
援ナビ
ゲータ
ー宮



宮崎労働局は、2月2日、がん等に罹患しても仕事と治療を両立しながら働くことができる社会の実現に向け、長期療養者就職支援事業の事業主向けに宮崎県と共催で、

健康経営フォーラムを宮崎市で開催しました。

従業員の健康管理への取組等に関する講演後、ハローワーク宮崎で相談窓口やがん拠点病院での出張相談を直接担当している二色就職支援ナビゲーターが、「がん患者の就労支援について」と題して講演。二色ナビは就職が実現した事例を紹介しながら「企業における通院時の休暇や体調の変化を配慮するなど、



職場環境を整備してほしい」と述べ、具体的な雇用への意思表示となる「仕事と治療を両立しやすい求人」のハローワークへの提出について積極的な検討を訴えました。

当日は、123名が参加し熱心に講演に耳を傾けていました。

労働契約等解説セミナー

安心して働くために

2月16日、労働契約等解説セミナーが、厚生労働省委託事業として宮崎市内で開催され、企業の労務担当者など約20名が参加しました。セミナーでは、安心して働くためのルール「労働契約法」その中でも特に「無期転換ルール」について、判例や事例を交えた講演がありました。

宮崎労働局からは木村労働紛争調整官が講師役として参加し、労使間でトラブルになった時に役立つ個別労働紛争解決システムについて説明しました。



助成金活用で生産性向上へ

宮崎太陽銀行で取引先に向けての説明会開く

宮崎労働局は、2月15日、宮崎太陽銀行本店において労働局の各種助成金について説明しました。これは「働き方改革における金融機関との連携取組」の一環で、助成金を活用して事業所の生産性向上を図るものです。同行の各ブロック代表11名が参加しました。

労働局から萩原職業対策課雇用開発係長と和田雇用環境・均等室長補佐が説明し、参加者からは



説明会の模様

「これらの助成金について知らなかったのが事業所の方と話す際、参考になります」「この資料は取引事業所に渡したい」など積極的な発言をいただきました。

県内企業130社各市町村参加!

2018

みやざき春フェア

3月27日(火) 場所 シーガイア



働く日本を 守る仕事を

平成30年度 労働基準監督官 採用試験

インターネット受付期間
3月30日~4月11日



働きがい 働きやすい 職場環境を整備

介護事業者経験交流会に99事業所166名が参加

て倍介
高率護
いは関
連と2
語・職
75種
前倍の
有有
効効
きき
わわ
め人



2月8日、宮崎市で介護事業者経験交流会が開催され、99の事業所から166名が参加しました。交流会は、介護分野における人材確保のための雇用管理改善推進事業の一環として、宮崎労働局から委託された介護労働安定センターの主催で開催されたものです。

宮崎労働局からは、前田職業対策課長が出席し「人手不足が深刻な介護・保育・建設業を啓



発対象分野として、ハローワークの求人窓口や事業所訪問等での啓発に努めています。業界全体及び個々の事業所が、魅力ある職場づくりを推進し、労働者からみて働きがい・働きやすさのある職場環境を整備し、雇用の確保が図られるよう啓発をすすめています」と挨拶しました。